

共

育

に

ゆ

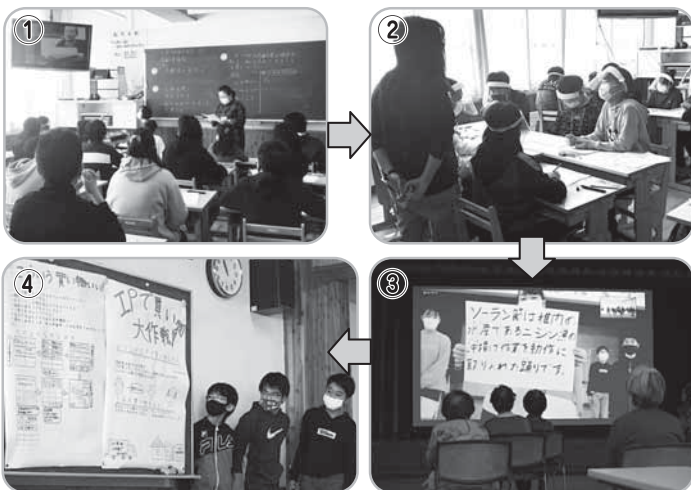
一

す



下川小学校 6年生

総合的な学習の時間の取り組み

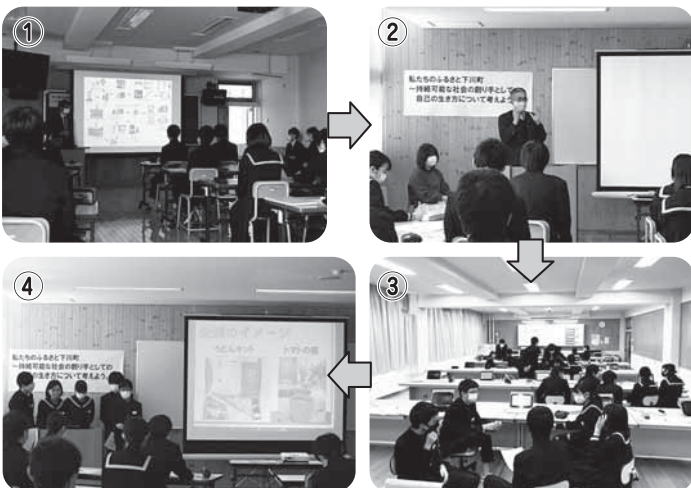


- ①2/24地域包括支援センター平田美和さん、ひまわりの斉藤千香子さん、杉田鈴子さんをゲストに招き、下川の高齢者が暮らしについてお話を伺いました。
- ②ゲストティーチャーのお話を踏まえ、自分たちに何ができるか考えます。
- ③3/3下川小学校体育館とハピネスをつなぎ、下川中央老人会のみなさんと交流会を行いました。
- ④3/8これまで関わったゲストティーチャーをはじめ、町長、議長、教育長が出席する中で、これまでの学習の取り組みや、それを踏まえた下川町への提案を行いました。

下川小学校6年生は、「下川を住みやすくし隊」をテーマに、総合学習に取り組んできました。学習の中で、コロナ禍で家族に会えずさみしい気持ちでいるお年寄りが多いということを知り、リモートで高齢者と交流することを企画。子どもたちは、体育館で、鼓笛やソーラン節、跳び箱の技の披露、○×クイズや、大喜利などの企画を考え実施しました。交流会の経験を踏まえ、ゲストを迎えた発表会では、「高齢者のサークルの運営」「高齢者中心の運動施設をつくる」「IP電話で買い物」「継続的な町内の小学生との交流」の4つの提案発表がありました。

下川中学校 3年生

総合的な学習の時間の取り組み



- ①2/2は、下川町教育委員会の和田健太郎より、下川町のまちづくりの歴史、近年のSDGsの取り組みについてお話をしました。
- ②2/8下川町商工会議所の浅野弘幸さん、しもかわ観光協会の高松峰成さん、タウンプロモーション推進部の立花祐美子さんから、下川の商業・観光・移住に関する取り組みをお話頂きました。
- ③下川町が持続可能な町であるために、どんな取り組みが必要かグループで話し合います。
- ④3/8発表会が行われました。これまで関わったゲストティーチャーをはじめ、町長、議長、教育長が出席する中で、6グループが町への提言を行いました。

下川中学校では、「わたしたちのふるさと下川町～持続可能な社会の作り手として自己の生き方について考えよう～」をテーマに学習に取り組みました。下川町の人口減少の現状や、商店経営者の高齢化、町内の不足業種など、地域社会の課題を知り、それらを踏まえて解決するためのアイデアをまとめていきました。

「バイオマスボイラーでロードヒーティング」「うどんやトマト苗の体験キットをふるさと納税で販売」「空き家を活用した高齢者交流カフェの運営」「下川の木材を活かしたキャンプ場やグランピング」「間伐材でつくるシイタケおみくじ」「空き家を活用したミニ商店街」などの発表がありました。

■お問い合わせ

教育委員会 ☎4-2511 内線516
☆4-251111